

| 今月の不動産経済 (2020年6月)

● 不動産業の動向

		前月比
不動産業景気動向指数 (DI) ^{*1}	29.2 p	5.7 p ↗
		前年同月比
不動産業の倒産状況 ^{*1}	35 件	75.0 % ↗
負債総額 ^{*1}	7,901 百万円	209.4 % ↗

● 新設住宅着工数

		前年同月比
新設住宅着工・総数 ^{*2}	71,101 戸	△ 12.8 % ↘
持家	23,650 戸	△ 16.7 % ↘
貸家	26,666 戸	△ 13.0 % ↘
分譲	20,189 戸	△ 7.7 % ↘
内マンション	8,422 戸	△ 2.0 % ↘

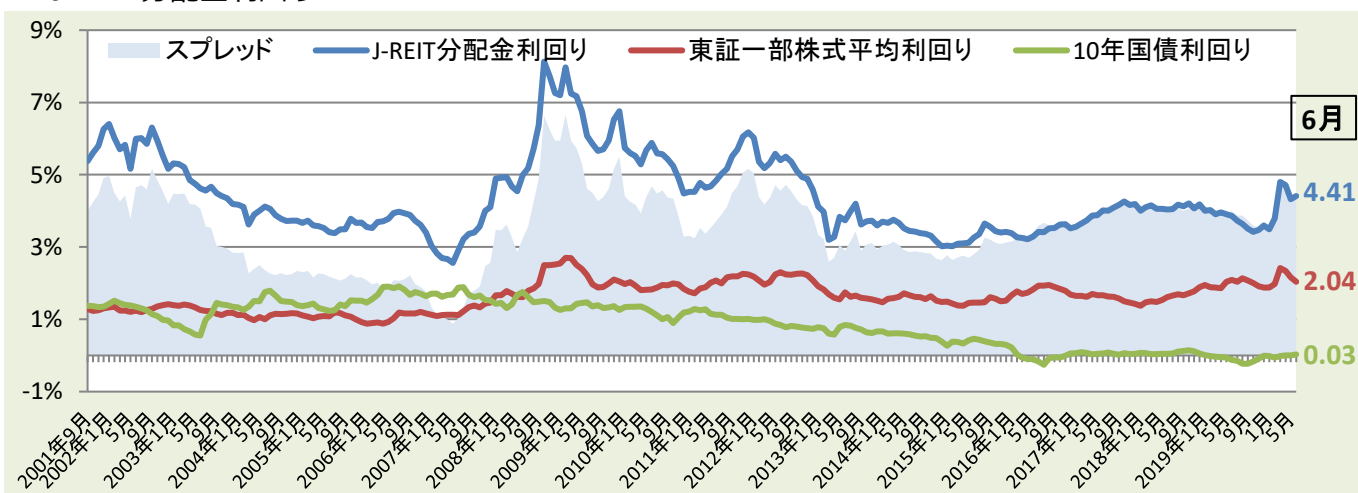
● マンション市場の動向

		前年同月比
新築・供給戸数 (首都圏) ^{*3}	1,543 戸	△ 31.7 % ↘
[契約率]	[73.2%]	7.3 p ↗
平均価格	6,389 万円	7.1 % ↗
新築・供給戸数 (近畿圏) ^{*3}	1,407 戸	△ 6.2 % ↘
[契約率]	[70.4%]	△ 2.9 p ↘
平均価格	3,608 万円	7.3 % ↗
中古・成約件数 (首都圏) ^{*4}	3,129 戸	△ 10.8 % ↘
平均価格	3,541 万円	5.4 % ↗
[㎡単価]	[53.5万円]	1.4 % ↗
中古・成約件数 (近畿圏) ^{*4}	1,557 戸	1.4 % ↗
平均価格	2,246 万円	△ 1.4 % ↘
[㎡単価]	[32.6万円]	△ 2.1 % ↘

● オフィス市場の動向

		前年同期比 (賃料) / 前月比 (空室率)
オフィス賃料 (都心5区) ^{*6}	22,880 円	6.3 % ↗
オフィス空室率 (都心5区) ^{*6}	1.97 %	0.33 p ↗

● J-REIT分配金利回り^{*7}



不動産業の業況感は前月比 5.7p改善し 29.2pとなった。2020年4月の 21.9pを底に 2ヶ月連続で改善している。

新設住宅着工数は、11ヶ月連続で前年同月比減。

首都圏の新築マンション供給戸数は、前年同月比 31.7%減 (10ヶ月連続で減)。契約率は、73.2%。平均価格は同 7.1%上昇 (3ヶ月連続で上昇)。

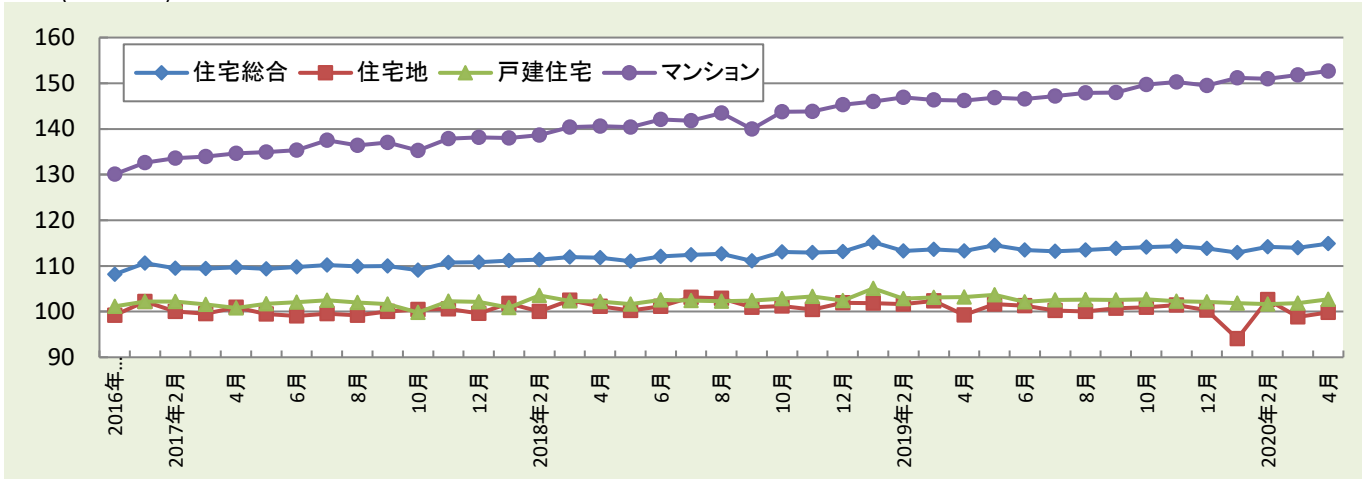
近畿圏の新築マンション供給戸数は、同 6.2%減 (3ヶ月連続で減)。契約率は、70.4%。平均価格は同 7.3%上昇 (4ヶ月連続で上昇)。

首都圏の中古マンション成約件数は前年同月比 10.8%減 (4ヶ月連続で減)。近畿圏の中古マンション成約件数は同 1.4%増 (9ヶ月ぶりに増)。

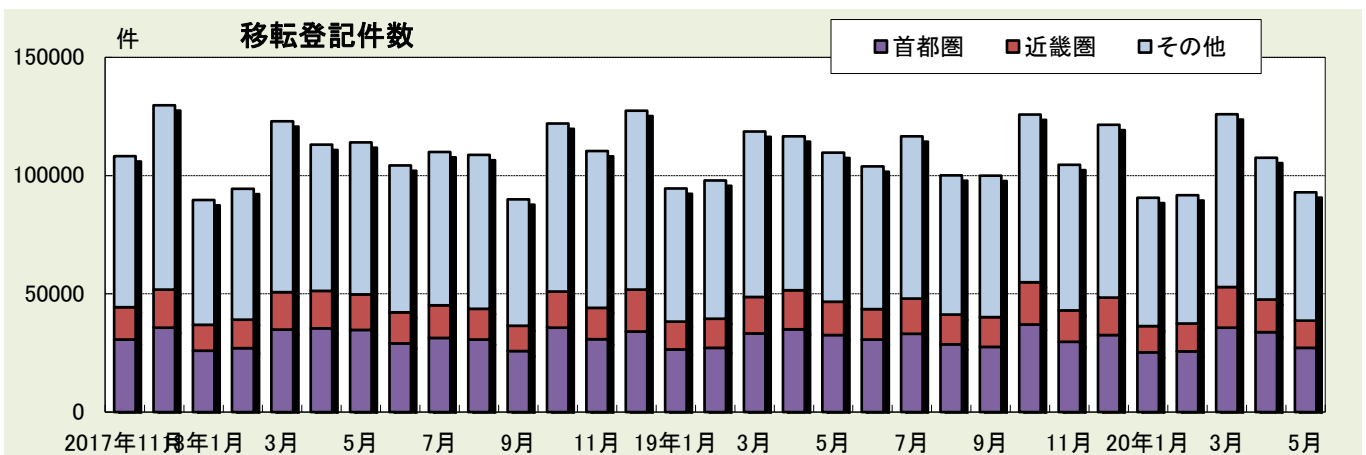
都心5区のオフィス賃料は 75ヶ月連続で前年同月上昇。オフィス空室率は前月比 0.33p上昇の 1.97%。

● 不動産価格指数^{*2}

(2010=100)



● 売買による土地所有権移転状況^{*8}



*1 帝国データバンク (DIは0~100、50が判断の分かれ目)

*2 国土交通省

*3 不動産経済研究所

*4 不動産流通機構

*5 アットホーム

*6 三鬼商事

*7 不動産証券化協会、東京証券取引所、財務省 (スプレッド = J-RIET分配金利回り - 10年国債利回り)

*8 法務省

[今月の不動産経済](#)

[時系列データ \(excel\) ダウンロード](#)